

令和6年 第14回 蕨市教育委員会（定例会） 会議録

招集期日	令和6年12月20日(金)		
場所	蕨市役所 5階 第1・第2委員会室		
開閉の時間	午後2時から午後2時47分まで		
議長	松本隆男 教育長		
出席委員	1番 萩原敏行 委員	2番 小島奈津子 委員	3番 尾方香里 委員
	4番 石山大介 委員		
議事参与者	教育部長 渡部幸代	教育部次長・学校教育課長 小山晃弘	教育部次長・生涯学習スポーツ課長 加納克彦
	教育部副参事・学校給食センター所長 石丸岳広	教育総務課長 白鳥幸男	中央公民館長 鈴木啓文
	図書館長 佐藤昌史	歴史民俗資料館長 小川有紀子	教育総務課長補佐 庄野将人
	生涯学習スポーツ課長補佐 小柴晴香	東公民館長 岡本啓太郎	西公民館長 荒川恵子
	南公民館長 萬年祐次	北町公民館長 桑島勝彦	下蕨公民館長 成田慎治
	学校教育課指導係指導主事 及川優介	旭町公民館長(指定管理者) 黒澤美和子	
書記	教育総務課庶務係長 瀬口正浩		

	会 議 事 件 名	議 事
議 事 進 行 状 行	報告1 令和6年第5回蕨市議会定例会教育委員会関係一般質問について	<p>開会宣言された後、前回の会議録の承認が行われ、直ちに報告に入る。</p> <p>令和6年第5回蕨市議会定例会教育委員会関係一般質問については、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習スポーツ課長、中央公民館長及び図書館長から質問と答弁の概要の報告がなされた。</p> <p>[質問] 塚越ビジョンに関する質問で、割合に関する答弁がありましたが、もう一度内容を教えてください。</p> <p>[回答] 教育センターでの外国人児童・生徒日本語特別支援教室における塚越地区の利用者割合についての答弁で、令和5年度は29%、6年度は12月4日時点で35%が塚越地区の割合です。また、日本語教育支援員が平日の午後に巡回指導を行っており、週一回訪問しています。</p> <p>[質問] 色々な国籍の方がいて、言語も様々だと思いますが、割合がわかりましたら教えてください。</p> <p>[回答] 正確な数値は持ち合わせていませんが、中国籍のお子さんが最も多く、他には英語圏のお子さんや、トルコ、フィリピンなど、色々な国籍のお子さんが利用しています。</p> <p>[質問] 指導にあたっては、そのお子さんの母国語で行われるのでしょうか。</p> <p>[回答] 基本的には日本語で指導を行いますが、翻訳機を使うこともあります。平仮名、片仮名や基礎的な言葉を学習して学校に戻るようになります。それだけでは不足する部分もありますので、先ほどの日本語教育支援員の巡回指導の機会や、日本語指導加配の教員が対応しています。</p> <p>[質問] 授業についていける状況までの指導は難しい状況でしょうか。</p> <p>[回答] お子さんごとに状況が異なり、難しい状況です。</p> <p>[質問] 常に加配の方が授業にいるというわけにはいかないと思いますので、その場合は担任の先生が対応しているのだと思いますが、そうした状況へ教育委員会からサポートはありますか。</p> <p>[回答] 主な業務ではありませんが、スクール支援員の方に対応をお願いすることもあります。担任の対応が主になっている状況です。</p>

議  
事  
進  
行  
状

報告2  
蕨市校内教育支援センターの愛称について

- [質問] 翻訳機などの補助はないのでしょうか。  
[回答] 要望はしていきたいと思います。  
[質問] インフルエンザに関する質問がありましたが、現在の罹患状況がわかりましたら教えてください。  
[回答] 今わかっている状況は、小学校1校で学年閉鎖・学級閉鎖がおきていますが、報告は閉鎖の都度ではなく、月に1回まとめてあがってきます。  
[質問] 学年・学級閉鎖が頻発している訳ではないと考えてよいのでしょうか。  
[回答] 今のところ、閉鎖の報告があったのは1校のみです。

蕨COCOLOプランの一つである蕨市校内教育支援センターの愛称を「e-s t a t i o n」にしたいと考えており、「e」には教育のE d u c a t i o nや、楽しむという意味のE n j o yなどが含まれている。また、「s t a t i o n」には利用する者が目的地に向かって経由する拠点という意味があり、子どもたちには教育支援センターを利活用して、自分の目的を見出しそれぞれのキャリアに向けて一歩踏み出してほしいという願いや、子ども自身が一歩踏み出したいという思いを反映したネーミングになっているという説明が学校教育課指導係指導主事からなされた。

- [質問] こうした愛称には横文字のものが多くのように思いますが、候補には日本語の愛称もあったのでしょうか。  
[回答] 議論の過程ではありましたが、まず目的があり、加えて他市の愛称の状況や、キーワードを挙げていく中で様々な意味合いがある「e」を中心に作成した状況です。

報告3  
第13回蕨市健やかメディア推進大会実施報告について

第13回蕨市健やかメディア推進大会については、11月23日(土)に文化ホールくるるで開催した。活動報告では東小学校の保健委員会児童が「東小学校の健やかメディアの取組」について動画発表したほか、講演会では「デジタル世界で子どもの発達と健康を守る～デジタル後進国の片隅で…～」と題し、NPO 法人子どもとメディア 常務理事の古野陽一先生に講演をいただき、当日の会場には56名の参加があったほか、68名の録画配信視聴の希望があったとの報告が学校教育課長からなされた。

議	報告4 第55回蕨市公募美術展覧会の結果について	第55回蕨市公募美術展覧会は、11月14日(木)から17日(日)までの4日間、文化ホールくるる及び旭町公民館で開催し、約930人が来場した。応募作品は、絵画、彫刻、工芸、写真及び書道の5部門に100点の出品があったほか、招待作品、片品村交流作品及び市内中学校の生徒の作品など、総作品数は177点で、それぞれの部門ごとに受賞者を決定した。また、直接の応募作品ではないが、これまで市内小学校を巡回して毎年1校ずつ制作してきた巨大アートが一巡したため、二巡目のスタートとして西小学校の1年生が作成した作品を展示したとの報告が、生涯学習スポーツ課長からなされた。
事	報告5 令和6年度蕨市子ども会育成連合会第23回ドッジボール大会 結果報告について	令和6年度蕨市子ども会育成連合会第23回ドッジボール大会は、11月24日(日)に市民体育館で実施し、高学年の部に9チーム、低学年の部に12チームが参加した。なお、高学年の部の優勝チームは、令和6年12月14日(土)に川越市で開催された「川越ドッジボールフェスティバル」に蕨市代表として出場し、他市の状況を経験するよい機会になったとの報告が、生涯学習スポーツ課長からなされた。
進	報告6 第43回蕨市民レクリエーション大会について	第43回蕨市民レクリエーション大会は、蕨市レクリエーション協会の加盟団体が日頃の活動成果を発表し、活動の普及と健康・体力づくりを促進することを目的に、11月23日(土・祝)に市民体育館で開催された。「みんないっしょに！」のコーナー、デモンストレーション、種目別大会が行われ、別日程で実施された種目別大会を含めて700人の参加があったとの報告が、生涯学習スポーツ課長からなされた。
行	報告7 第62回蕨市民ロードレース大会について	第62回蕨市民ロードレース大会は、コロナ禍があけて2回目の開催で、12月8日(日)に第一中学校及び大荒田ランニングコース周辺を会場に実施をした。小学生から大人まで14の種目に合計で377人が参加し、2つの大会新記録が誕生したとの報告が、生涯学習スポーツ課長からなされた。
状	報告8 令和6年度地区生涯学習フェスティバルについて	令和6年度地区生涯学習フェスティバルは、生涯学習活動の実践の場を提供し、人々の交流や、生涯学習への参加促進等を図ることに開催をしており、公民館利用団体の会員や地域の方で組織する実行委員会で企画運営している。今年度は9月から11月にかけて行い、音楽やダンス等の発表、絵画や書道等の作品展示、利用団体による公開講座、子供を対象としたイベント、講演会や座談会など様々な特徴ある催しを開催し、7地区合計で延べ12,861人の方に参加いただいたとの報告が、中央公民館長からなされた。
況		

